

機関番号：28001

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：平成 19 年度～平成 22 年度

課題番号：19320028

研究課題名（和文）鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究

研究課題名（英文）

研究代表者

波照間永吉（HATERUMA EIKICHI）

沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授

研究者番号：30189576

研究成果の概要（和文）：本研究は、鎌倉芳太郎収集資料の文献資料、写真資料、紅型型紙資料についてのデジタルデータ化を進め、その上で画像データベースを統合構築してインターネット上に公開し、これらの画像データを沖縄文化の多領域の研究者や、沖縄文化に関心を寄せる沖縄県民および国民の利用に供するものである。さらに構築した総合画像データベースについて科学的方法を導入した鎌倉芳太郎資料の琉球文化研究への活用の新たな可能性を検討したものである。

研究成果の概要（英文）：

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 19 年度	1,700,000	510,000	2,210,000
平成 20 年度	1,700,000	510,000	2,210,000
平成 21 年度	1,200,000	360,000	1,560,000
平成 22 年度	1,300,000	390,000	1,690,000
総計	5,900,000	1,770,000	7,670,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学 美学・美術史

キーワード：①美学 ②データベース

1. 研究開始当初の背景

(1) 人間国宝（重要無形文化財保持者）指定の型絵染作家として著名な鎌倉芳太郎（1898-1983）は、大正後期から昭和初期にかけて膨大な量の沖縄関係資料を収集した。その分野は専門の染織を中心とした工芸から、美術、建築関係、さらに文学、芸能、民俗と多岐にわたっている。これらの資料は「鎌倉芳太郎資料」の名で、現在沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館が所蔵している。これらは大きく1. 文献資料（ノート、収集文書・原稿・文献その他目録）、2. 写真資料、3. 紅型資料（紅型型紙、紅型裂）の三種に分類される。

特に、沖縄戦の戦災で多くの建築物、美術

品、文献資料が焼失した沖縄にとって、戦前期に収集されたこれらの資料は、戦前の沖縄文化の諸側面を明らかにするうえで極めて高い価値を有している。たとえば、1992年（沖縄復帰20周年）の首里城復元に際して、鎌倉芳太郎資料が大きな役割を果たしたことは周知の事実である。鎌倉芳太郎自身、膨大な資料収集と調査研究の成果を『沖縄文化の遺宝』（岩波書店、1982年）にまとめている。しかしこの大著さえ、膨大な鎌倉資料の一部を反映しているにすぎない。さらに、鎌倉資料のうちの写真資料（附鎌倉ノート）が、「琉球芸術調査写真」（一、ガラス原板 二、紙焼付写真 附調査記録八十一冊）として平成17年に国の重要文化財の指定を受けた。このように

鎌倉芳太郎資料は、琉球・沖縄文化の幅広い領域に関する戦前期の貴重な資料として、沖縄文化研究の世界にとどまらず、沖縄県民、日本国民にとって重要な価値を有するものだという認識が広まっている。

(2) 本研究の研究代表者、分担者全員が所属する沖縄県立芸術大学付置研究所では、1997年より、鎌倉芳太郎資料の調査整理事業に取り組んできている。その成果として、これまでに『沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』(1998年)、『鎌倉芳太郎資料集第一巻 紅型型紙(一)』(2002年)、『鎌倉芳太郎資料集第二巻 紅型型紙(二)』(2003年)、『鎌倉芳太郎資料集ノート篇I 美術・工芸』(2005年)、『鎌倉芳太郎資料集ノート篇II 民俗・宗教』(2006年)を刊行している。現在は、鎌倉芳太郎ノートの翻刻刊行作業に引き続き取り組んでいる。

2. 研究の目的

(1) 本研究は、この鎌倉芳太郎資料の調査整理事業の過程で構築した画像データベースを統合構築してインターネット上に公開し、さらにノート資料の写真撮影によってデジタル画像化し、これらの画像データを沖縄文化の多領域の研究者や、沖縄文化に関心を寄せる沖縄県民および国民の利用に供することを目的とする。

(2) さらに構築した総合画像データベースを活用し、科学的方法を導入した鎌倉芳太郎資料の琉球文化研究への活用の新たな可能性を探ろうとするものである。

3. 研究の方法

本研究は具体的な調査研究を推進するために、全体組織をデータベース構築班(柳、久万田)、鎌倉ノート班(波照間、波平)、紅型型紙班(柳)の三班に分け、互いに緊密な連携をとりながら研究計画を実施していった。

(1) データベース構築班

研究分担者の柳悦州のもとで試行的に構築されてきた鎌倉芳太郎紅型型紙画像データベース、および研究分担者の久万田晋のもとで同じく試行的に構築されてきた鎌倉芳太郎写真データベースを構造的に統合する方法を検討し、試行的に総合画像データベースを構築していった。また、一般公開に必要な操作環境、画像サイズ等を検討し、その前段階として沖縄県立芸術大学内に限定し

た試験的公開を行い、一般公開にあたってのファイヤーウォール設定、DNS設定、クライアント設定等の技術的諸問題を検討していった。

(2) 鎌倉ノート班

鎌倉ノート全81冊についてデジタル撮影方法と画像データベース化の方法を検討し、実施していった。

(3) 紅型型紙班

鎌倉芳太郎収集紅型型紙画像データベースを総合画像データベースに統合する作業を進める。また、紅型型紙画像データについて、軟X線撮影の実施とその解析についての方法的検討を行っていった。

4. 研究成果

4年間の研究期間を通じて、データベース構築班(柳、久万田)、鎌倉ノート班(波照間、波平)、紅型型紙班各班において、以下のような成果が得られた。

(1) データベース構築班

本班は、サーバ整備のために、備品費でサーバー式、プリンタを購入し、それをもとに機器の設置、サーバソフトの設定を行った。付置研究所において試行的に構築されてきた鎌倉芳太郎紅型型紙画像データベース、および鎌倉芳太郎写真データベースを構造的に統合する方法を検討し、試行的に総合画像データベースを構築した。この試行版は、沖縄県立芸術大学附属研究所内でのみアクセス可能なデータベースとした。この試行版に関して、一般公開に必要な操作環境、画像サイズ等を検討し、その前段階として沖縄県立芸術大学内に限定した試験的公開を行い、一般公開にあたってのファイヤーウォール設定、DNS設定、クライアント設定等の技術的諸問題を検討した後に、鎌倉ノート、紅型型紙、鎌倉写真に関して部分的ながら一般公開を実施した。

(2) 鎌倉ノート班

本班は鎌倉ノート(全81冊)のデジタル撮影方法と画像データベース化の方法を検討しつつ年度ごとに実施して行った。その結果、4年間の研究期間を通じて鎌倉ノート全81冊のうち見開き撮影をすべて完了し、頁撮影についても56冊まで完了した。ただし画像データ検索用のインデックス作成作業については十分に進展せず今後の課題として残された。

(3) 紅型型紙班

本班は、鎌倉芳太郎紅型型紙画像データ

ベースから試行版総合画像データベースの構築作業に協力すると共に、平成20年度から鎌倉芳太郎収集紅型型紙の軟X線撮影とその解析についての方法的検討を行った。その結果、当初予定した軟X線撮影を、方法上の問題から赤外線ランプとフィルターの組合せによる赤外線撮影する方法に変更して、画像処理の専門家に専門的知識の提供をうけつつ撮影を進めた。その結果平成22年度までに鎌倉芳太郎収集の紅型型紙(1414点)についての赤外線撮影を全て完了した。またこれらのデジタル画像データに記された朱文字の解析作業を進めてきたが、これについては今後の課題として残された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

- ①波照間永吉、発見された紅型紋様図案帖、沖縄タイムス(2007年5月21日)、査読無、2007
- ②沖縄県立芸術大学附属研究所(波照間永吉、柳悦州、久万田晋)、「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」報告、沖縄芸術の科学、第21号、査読無、113-167
- ③柳悦州、鎌倉芳太郎収集紅型型紙資料-県立芸術大学附属図書・芸術資料館蔵収蔵品から-、琉球新報(2008年8月22日)、査読無、2008
- ④波照間永吉、鎌倉資料の果たした役割、琉球絵画展図録、査読無、2009、p.84
- ⑤柳悦州、ラオスとシルクロード沿いの諸国の細帯文化、ミンサー全書、査読無、2009、pp.35-45
- ⑥久万田晋、沖縄・奄美における三線の広がり、まるごと三味線、青弓社、査読無、2009、pp.35-43
- ⑦波照間永吉、碑文とオモロからみる古琉球の王府祭儀、沖縄県史各論編3古琉球、査読無、2010、pp.511-526
- ⑧柳悦州、日本民藝館所蔵久米島織物について、特別企画展図録「久米島紬-未来への想い-」、査読無、2010、pp.46-53

[学会発表] (計3件)

- ①波照間永吉、南島の民衆生活と歌謡、韓国

民謡学会・国立南道国学院シンポジウム「民謡と東アジアの民衆生活、そして研究の問題点」、2009年9月26日、韓国珍島・国立南道国学院

②柳悦州、アジアからみた沖縄の染織、沖縄文化協会2010年度公開研究発表会、2010年7月18日、沖縄県立芸術大学

③波照間永吉、御嶽の森の保全と歴史的文化的景観、日本景観学会石垣島大会、2010年8月28日、石垣市大川公民館

[図書] (計1件)

- ①久万田晋、ボーダーインク、沖縄の民俗芸能論-神歌、臼太鼓からエイサーまで-、2011、370

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

ホームページ等

- ①鎌倉芳太郎データベース

<http://www.ken.okigei.ac.jp/kamakura/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

波照間 永吉 (HATERUMA EIKICHI)
沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授
研究者番号：301895756

(2) 研究分担者

久万田 晋 (KUMADA SUSUMU)
沖縄県立芸術大学・付置研究所・教授
研究者番号：30215024
波平 八郎 (NAMIHIRA HACHIRO)
沖縄県立芸術大学・美術工芸学部・教授
研究者番号：40279427
柳 悦州 (YANAGI YOSHIKUNI)
沖縄県立芸術大学・付置研究所・所長(教授)
研究者番号：70200532

(3) 連携研究者

なし